

西部

水再生センター

概要

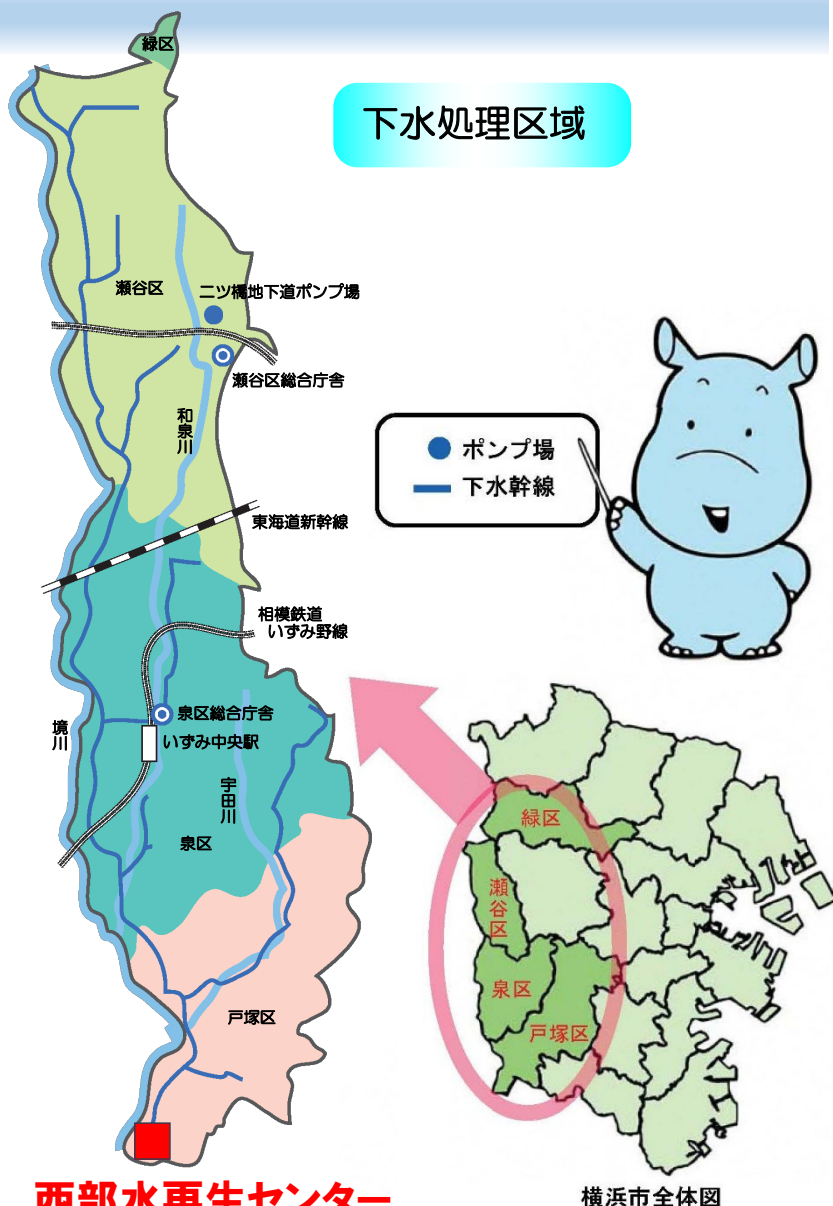
西部水再生センターは、横浜市の南西部に位置し、藤沢市との市境にあります。当センターでは、瀬谷区・泉区の大部分、戸塚区の約 3 分の 1、緑区の一部から集められた下水を処理しています。各家庭や事業所などから排出された汚水は、3 本の主要な下水道管を通して当センターへ送られ、きれいな水に処理された後、境川へ放流されています。

下水処理の過程で発生する汚泥は、金沢区にある南部汚泥資源化センターへ送られ、市内の他の水再生センターの汚泥とともに処理・資源化されています。

西部水再生センターでは、横浜市内で初めて下水処理施設の一部（最初沈殿池・反応タンク）を覆う構造を採用し、脱臭設備を設置することで周辺地域との環境調和に配慮しています。

所在地	横浜市戸塚区東俣野町 231 番地
	TEL:045-852-6471 FAX:045-852-7604
稼働年月日	昭和 58 年 3 月 31 日
敷地面積	104,940 m ²
計画処理面積	3,813 ha
計画処理人口	270,300 人
計画処理能力	106,400 m ³ /日
放流水域	境川
汚泥処理	南部汚泥資源化センターへ圧送

下水処理区域

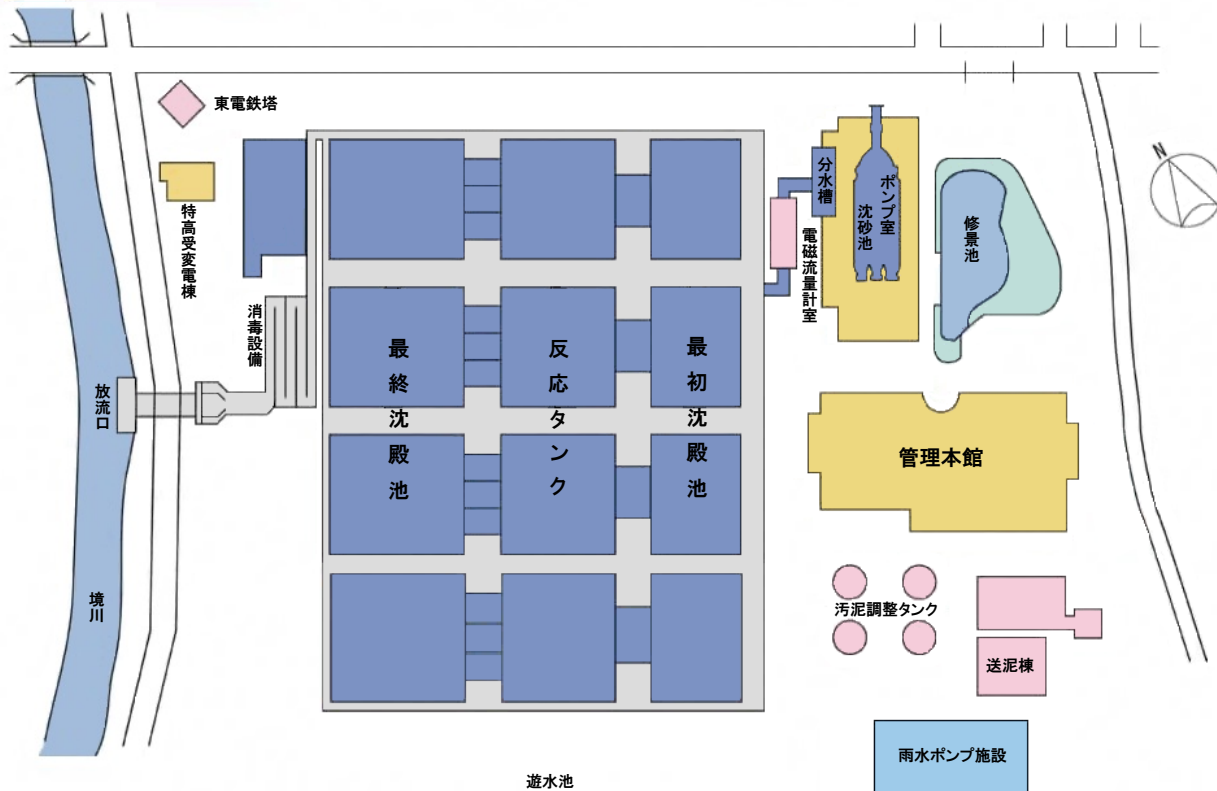


西部水再生センターのウェブサイトはこちら

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/center/saisei_center/seibu/09wtc.html

西部水再生センター

平面図



特 色

西部水再生センターは、豊かな自然環境に恵まれた、完全分流式の下水処理場です。
場内は生物多様性に富み、様々な生き物が共存しています。



施設・設備概要

●主要設備(1)

設備名	構造	滞留時間	有効容積	設置数
沈砂池	巾 3.2m×長 18.15m×深 1.55m	3.6 分	90m3/水路	3 水路
最初沈殿池	巾 16.2m×長 25.3m×深 3.1m	2.3 時間	1271m3/池	8 池
反応タンク	巾 8.3m×長 33.9m×深 9.0m×2 水路	9.0 時間	5065m3/池	8 池
最終沈殿池	巾 16.2m×長 38.7m×深 3.4m	3.8 時間	2132m3/池	8 池
消毒設備	巾 2.6m×長 33.0m×深 3.0m×5 水路	21.6 分	1599m3/池	1 池

●主要設備(2)

約 15 時間 45 分かけてきれいな水になります

設備名	構造	設置数
汚泥調整タンク	直径 12.2m×深さ 4.0m	4 基
汚水ポンプ設備	口径 700mm×1.1m ³ /秒×250kW	2 台
	口径 900mm×1.8m ³ /秒×420kW	2 台
	口径 1000mm×2.2m ³ /秒×550kW	1 台
送風設備	口径 250mm×120m ³ /分×180kW	2 台
	口径 400mm×220m ³ /分×310kW	1 台
	口径 400mm×250m ³ /分×355kW	1 台
	口径 400mm×250m ³ /分×340kW	1 台
自家発電設備	出力 3000kVA×電圧 6300V	2 台
雨水ポンプ設備	口径 900mm×1.82m ³ /秒×550kW	2 台
	口径 1350mm×3.65m ³ /秒×1000kW	1 台

●西部水再生センター所管の雨水排水ポンプ場

名称	揚水能力 (m3/秒)	放流先	位置
ニツ橋地下道ポンプ場	9.60	和泉川	瀬谷区ニツ橋町 372